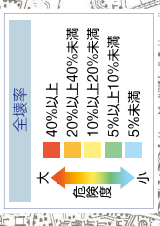


富山地域|和合・泉羽・富山西部

大規模な地震が発生した場合に全壊する建物の割合(全壊率)を、地域ごとの建物の構造(木造/非木造)・築年次と各地点のゆれの大きさに基づいて算定しました。
(平成22年1月1日時点での富山市における建物の状況から推定しました)



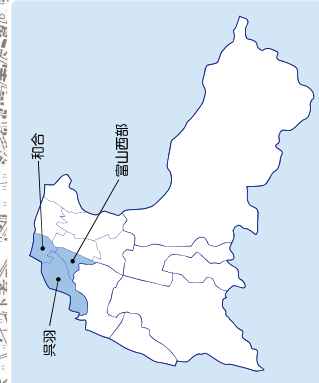
- 建物の全壊率は、揺れ強度を基準にした区画別りである50mメッシュごとに、建物の耐震性の大小とゆれの大きさをから計算しています。
- 全壊率の大小は、50mメッシュごとに青色により表示しています。
- 予想揺れが大きく、古い建物(昭和56年5月以前)が密集しているところほど、全壊率は大きくなります。
- 全壊率は、地域としての建物の全壊の可能性を示していますが、あくまで目安であり、個々の建物や土地についての評価ではありません。

耐震診断を行って、耐震補強をしましょう!

次のような項目に当てはまりがある建物は、注意が必要です。

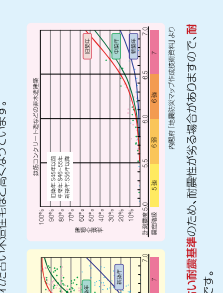
- 昭和56年以前に建てられている。
- 1階の一部が駐車場になっている。
- 2階が建物の左右に片寄っている。
- 平屋建てに2階を載せと構築している。
- トアあるいは窓の建て付けが悪く、柱と建具の間に大きな隙間が空いている。建具の脚が揺らぎようがない。
- エルツァル造りに思い込みのひび割れが入っている。
- 屋根の傾斜が急峻な傾斜が打っている。
- 原形や床、床が傾いている。
- 基礎や土台が露出して、叩いてみて揺れる。
- シロアリの成虫が浴室等から飛び出す。

* 昭和56年5月以前に建てられている建物は、古い耐震基準のため、耐震性が劣る場合がありますので、耐震診断・耐震改修を行うことが重要です。



地震による建物被害

- 阪神・淡路大震災では10万棟以上の建物が全壊し、多数の死者を出しました。古い家に住む高齢者の犠牲者が多かったのは、建物の耐震性が低く、下のグラブに示すように、震度が6弱~6強以上に与えられた全壊率が急激に高くなる傾向にあります。
- この傾向は、昭和56年以前に建てられた古い住宅地帯でもよく見られます。



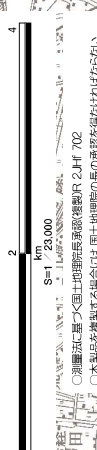
避難場所

最寄りの避難場所や避難経路について確認しておきましょう。

区分	名称	電話番号
1区 富山西部	1 富山県五福公園	432-5073
	2 桜谷小学校	432-4235
	3 五福小学校	432-4786
	4 神明小学校	421-7061
	5 四方小学校	435-0019
	6 八幡小学校	435-0144
	7 草島小学校	435-0159
	8 倉垣小学校	435-0368
	9 泉羽小学校	434-3100
	10 長岡小学校	432-2594
2区 泉羽	11 老田小学校	436-5594
	12 池多小学校	434-1379
	13 老田小学校	436-5208
	14 池多小学校	436-5700
	15 西館中学校	432-4787
	16 和合中学校	435-1156
	17 泉羽中学校	434-3200
	18 富山大学附属小・中学校	445-2806
	19 富山工業高校	441-1971
	20 富山大学五福キャンパス	445-6011
3区 和合	21 富山大学杉谷キャンパス	434-2281
	22 富山商業高校	441-3438
	23 泉羽高校	436-1056
	24 富山短大	436-5146
その他	25 富山総合支援学校	441-8261
	26 富山市民芸術創造センター	434-4100

【避難場所】 本図は、本図に示した避難場所を基準として、1区(富山西部)・2区(泉羽)・3区(和合)の各区分ごとに、最寄りの避難場所を特定しています。本図に示した避難場所以外の避難場所も存在する場合があります。また、避難場所の名称や電話番号は、変更される場合があります。最新の情報は、富山県防災課(TEL:076-234-2111)または各避難場所の管理者にお問い合わせください。

【避難経路】 本図は、本図に示した避難経路を基準として、1区(富山西部)・2区(泉羽)・3区(和合)の各区分ごとに、最寄りの避難経路を特定しています。本図に示した避難経路以外の避難経路も存在する場合があります。また、避難経路の名称や番号は、変更される場合があります。最新の情報は、富山県防災課(TEL:076-234-2111)または各避難場所の管理者にお問い合わせください。



富山県防災課(TEL:076-234-2111) 富山県防災課(TEL:076-234-2111) 富山県防災課(TEL:076-234-2111)